



甲中だより

教育目標『向上心』『思いやりの心』『健やかな体』



地域運営学校
八王子市立甲ノ原中学校
令和8年10月1日
学校だより
第6号

～ 「経験」が脳を育て、未来をつくる ～

校長 酒井 章

先日、1年生が移動教室を行いました。楽しみにしていた筑波山登山は、あいにくの天候不良のため実施できませんでした。しかし、今回の移動教室で私が最も印象に残ったのは、飯盒炊爨での生徒たちの姿です。米を炊く人、食材を準備する人、調理する人など、それぞれが役割を果たし、互いに協力しながら一つの料理を完成させました。教室の中とは違う生徒の生き生きとした表情を見ることができたことは、私にとっても大



きな喜びでした。自分一人ではできないことも、力を合わせることで成し遂げられる。その実感は、大きな学びになったことと思います。また、笠間焼の手びねり体験では驚くほどの集中力を発揮し、土に触れながら日本の伝統文化を体験することができました。完成品が届くのがとても楽しみです。

こうした経験が、これからの学校生活の中でさらに深められていき、やがて八王子、東京、日本の将来を支えていく土台になることを期待しています。2、3年生も、これから修学旅行や校外学習を控えています。学校の外だからこそ出会える人やもの、場所があります。仲間とともに楽しみながら、学校での学びをさらに広げてほしいと思います。

さて、『脳は世界をどう構築しているのか——24時間、一生、そして未来を読み解く脳科学』（毛内弘著）という本を読みました。本の中では、脳を1日の時間だけでなく、生まれてから老年期までの一生という時間軸から捉え、児童期や思春期の脳の変化についても触れています。



中学生は、心身だけでなく脳も大きく変化していく時期です。したがって、学校生活は脳の持つ可能性を広げるための、とても大切でかけがえのないものだと思います。授業で新しいことを知る。分からないことを考える。友達と意見を交わす。失敗して、もう一度挑戦する。行事や係活動、部活動などを通して、自分とは異なる考えをもつ人と関わる。こうした経験の1つ1つが、新しいものの見方や考え方につながって、脳の発達と将来の可能性を広げることにつながります。

脳は、自分以外の友人の声を聞くだけでも、さまざまな経験を通じて変化していきます。何気なく過ごしているように見える毎日、脳にとっては未来の自分をつくるための大切な時間なのです。

秋は、学びを深める季節です。学校の内外で多くの人と関わり、さまざまな経験をし、心を動かし、考える。その積み重ねを大切にしながら、生徒一人一人が自分の可能性を広げていくことを願っています。

～ 1 年生 移動教室（茨城県つくば方面） ～

9月8日と9日の1泊2日で、移動教室（茨城県つくば方面）に行ってきました。中学生として最初の宿泊行事でした。天候に恵まれませんでした。つくばエキスポセンター見学、笠間焼体験、カレー作り等を実施し、友達との距離を縮めた行事となりました。



～ 生徒会本部役員決定 ～

先日行われた選挙の結果、新しい生徒会役員が決定しました。これから学校生活をよりよくするために、様々な活動に取り組んでいってください。

温かいご支援とご協力をお願いします。

○会長 M. R さん
○副会長 T. H さん
A. Y さん

○庶務 T. S さん
O. K さん
H. A さん

～ 2 学期 中間考査～

9月29日・30日の2日間、2学期中間考査が実施されました。

1年生にとっては中学校での2回目の定期テストとなります。日頃の学習の成果が発揮できたことを期待しています。



10月の主な行事	
2日（金）復習確認テスト（3年） 学校運営協議会	26日（月）全校朝礼
5日（月）安全指導	28日（水）合唱祭
14日（水）貧血検査（2年）	29日（木）進路面談（3年）
14日（水）修学旅行（3年）	～11月5日（木）
～16日（金）	SC（スクールカウンセラー）来校日
19日（月）生徒総会	7日（水）、14日（水）
23日（金）避難訓練	21日（水）、27日（火）

※「甲中だより」は、プリントではなく **Home&School** にて配信させていただいています。